



⑨ 佐竹ファーム



⑦ 仁井田川堰



⑥ 四万十市トンボ自然公園



① 竹島川下流のアオサノリ養殖場



⑫ 奈良川の堰

※NBS: Nature Based Solution: 自然活用の水辺再生プロジェクト

四万十川NBS[※]国際シンポジウム

2025年 3月4日(火) 12:30開場 13:00開始 四万十市総合文化センターしまんとぴあ りぐるホール
3月5日(水) 12:30開場 13:00開始 四万十町役場東庁舎 多目的大ホール



【共催】一般社団法人生態系総合研究所 一般財団法人鹿島平和研究所

【後援】農林水産省、国土交通省、環境省、高知県庁、愛媛県庁、四万十市、四万十町、宇和島市、黒潮町、梶原町、中土佐町、津野町、松野町、鬼北町、

四万十川漁業協同組合連合会、四万十川下流漁業協同組合、四万十川中央漁業協同組合、四万十川西部漁業協同組合、四万十川東部漁業協同組合、四万十川上流淡水漁業協同組合、高知銀行



デニス・ウィグハム氏
 スミソニアン環境研究所 (SERC) 特別榮譽科学者
 北米ラン保全センター 初代所長
 専門分野は植物生態学。森林地帯の草本の研究や熱帯地域、温帯地域、亜寒帯地域の森林を研究。近年、アラスカの主流河川における若齢サケの生息地に関連した湿地の役割、ランの生態と保全、外来湿地帯種の生態に焦点を当てている。



松政正俊氏
 岩手医科大学教授
 岩手医科大学教授。岩手県盛岡市出身。東北大学理学部、同大学院修了。理学博士。専門は生態学、特に沿岸・河口域の生物・環境動態の研究。



クリス・ビクラフト氏
 アンダーウッド・アンド・アソシエーツ社
 専門は河川復元の設計・施工、生きた海岸線 (Dynamic Living Shoreline) の設計・施工、動植物生息地の造成・復元、湿地の造成・復元他。生態系再生プロジェクトを予定通り、かつ予算内で完成させるため、施主、検査官、エンジニア、プロジェクト・パートナー、すべてのスタッフと協力する立場にある。



横山勝英氏
 東京都立大学教授
 東京工業大学大学院で博士号 (工学) を取得し、建設省土木研究所、東京都立大学講師、准教授を経て2017年から現職。専門は環境水理学。東日本大震災の後、被災地にて汽水域再生を実践し、グリーンインフラ大賞を受賞。



キース・ビンステッド氏
 アンダーウッド・アンド・アソシエーツ社
 河川流域専門の科学者で、生態系再生プロジェクトを支える業務に許可を与える立場。メリーランド州とワシントンDCの山麓地帯・海岸平野の河川の迅速かつ集中的な評価プロジェクトや、河川修復プロジェクトと防波堤を植物で覆う生きた水際プロジェクトのエンジニアリングと設計で豊富な経験を有する。



板川暢氏
 鹿島建設株式会社鹿島技術研究所
 サステナビリティ/サイエティラボグループ主任研究員
 慶應義塾大学大学院で博士号 (政策・メディア) 取得。動植物生息地復元や希少種保全策の検討、ビオトープ設計等に関する業務に携わる。



マット・フレミング氏
 メリーランド州アン・アルンデル郡
 レジリエンス・オーソリティ ディレクター
 メリーランド州、アナポリス・アンアルンデル郡環境修復局、局長。前職はメリーランド州政府天然資源省職員で、沿岸域修復、天然資源管理で25年の経験を持つ。



沖大幹氏
 東京大学工学系研究科教授
 博士 (工学)、気象予報士。1989年東京大学助手、2006年教授。2016-21年に国連大学上級副学長を兼務。専門は水文学 (すいもんがく) で特に地球規模の水循環と世界の水資源、気候変動と持続可能な開発。ローマクラブ正会員、日本学術会議会員。水文・水資源学会会長。



野村彩恵氏
 公益社団法人トンボと自然を考える会 職員
 幼少の頃より生物が好きで、2005年より公益社団法人トンボと自然を考える会に勤務。同会が運営・管理する四万十川学遊館では主に魚飼育を担当し、四万十川流域で随時魚類等の生物調査を行っている。また、広大なトンボ自然保護区の整備作業や体験学習対応など他の職員3名と共に少人数で汗を流している。



須田泰造氏
 国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所
 事務所長
 平成5年 建設省四国地方建設局採用。四国地方整備局 松山河川国道事務所工務二課長、道路部道路工事課課長補佐、国土政策局 特別地域振興官付調整官 (小笠原諸島、奄美群島担当) などを経て現職。



中村智子氏
 一般社団法人生態系総合研究所 スタッフ・通訳者
 在日オーストラリア大使館翻訳・通訳官、農務部で上席調査官を務め、2017年に34年勤務したオーストラリア大使館を退職したあと、生態系総合研究所でリサーチ・アシスタントとして勤務。大阪外国語大学 (現大阪大学) 外国語学部卒業、青山学院大学国際政治経済学部大学院国際政治学修士号取得。



小松正之氏
 一般社団法人生態系総合研究所 代表理事
 米エール大学経営学修士・東京大学農学博士。森と川と海と人の関係についての基本調査を実施。広田湾の海洋環境と栄養状態調査を実施。現在は米スミソニアン環境研究所との連携も含め、自然活用の水辺再生を大船渡湾、東京湾、四万十川で広く調査・研究を実施中。

シンポジウムプログラム (3月4日・5日共通)

- 13:00 開会の挨拶ならびに来賓の挨拶
- 13:15 第一部：講師による講演
 - 「四万十川の現状について」小松正之氏
 - 「チェサピーク湾の経験」デニス・ウィグハム氏
 - 「四万十川へのNBSの導入について」キース・ビンステッド氏
 - 「日本の科学者から見た四万十川」横山勝英氏
- 14:15 第二部：専門家による発表 司会：小松正之氏
 - 国土交通省中村河川国道事務所長 須田泰造氏
 - 沖大幹氏、クリス・ビクラフト氏、松政正俊氏、板川暢氏、野村彩恵氏
- パネル・ディスカッション
 - パネリスト：クリス・ビクラフト氏、キース・ビンステッド氏、横山勝英氏、野村彩恵氏
- 15:30 シンポジウム終了予定

3月4日因会場 しまんとびあ りぐるホール



3月5日因会場 四万十町役場 多目的大ホール

